

# 広報 じちしん

● 自治振興協議会連合会だより ●

▶ 第23号 ◀

【編集・発行】 福島市自治振興協議会連合会  
【事務局】 福島市政策調整部 地域共創課  
電話 (535) 1111 (内線) 2052



## 自治振興協議会は 市民と行政のキャッチボールです!

### 会長あいさつ



福島市自治振興協議会連合会  
会長 吾妻 雄二

「自治振興協議会連合会だより」の発行にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

「安全安心なまちづくり」をすすめていく上では、市民と行政が共に手を携え、地域の課題解決に向けて取り組んでいくことが重要であります。

自治振興協議会は、昭和32年より実施している福島市独自の制度で、市民と行政が共創の担い手として、地域ごとの課題や将来像などについて、直接意見を交換し、安全安心なまちづくりに取り組んでおります。

### 市長あいさつ



福島市長  
木幡 浩

市民の皆さま、事業者の皆さま、そして医療・保健関係者の皆さまには、新型コロナウイルス対策に多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

この度、市民の皆さまのご支持をいただき、2期目の市政のかじ取りを担わせていただくことになりました。改めて気持ちを引き締め、重責を果たしてまいります。

さて、昨年は東京2020オリンピックにおいて、2大会ぶりの開催となったソフトボールが福島市のあづま球場で開催。初戦を見事勝利で飾った

さて、未だ色濃く影響を及ぼす新型コロナウイルスですが、地区ごとに開催をしている自治振興協議会においては、広い会場で、換気を行いながら実施するなど、各会場で十分な感染対策をとったうえで開催いたしました。感染状況が厳しい中、無事に開催することができたのは、ひとえに皆様のご協力のおかげと感謝を申し上げます。

現時点においても、感染予防対策は不可欠ですが、今後とも行政と協力し感染対策を十分に図りながら活動してまいります。

おわりに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願いますとともに、福島市のさらなる発展のため、各種事業を一層推進して参りますので、引き続き皆さまのご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

日本チームは勢いにのり、見事優勝。さらに、パラリンピック競技大会では、福島市在住の佐々木真奈選手が視覚障がい400m走で見事7位に入賞。

閉会式の入場曲では、福島市が世界に誇る作曲家 古関裕而さんのオリンピックマーチが流れるなど、福島市が世界に羽ばたく一年でもありました。

しかしながら、今なお立ちほだかる新型コロナウイルスに対し、感染防止策を徹底し、厳しい暮らしや地域経済の再生を進めて、一日も早く乗り越えれるとともに、静かなる危機である人口減少の流れを変えていかなければなりません。

結びに、自治振興協議会の皆さまと「コロナを超えて希望の未来を」共に創るべく、引き続き、全力を挙げて参りますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



地区別開催状況・協議テーマおよび提案事項件数 (開催日順)

開催日	地区名		会場	参加者			協議 テーマ 件数	提案事項 件数
				内女性	参加率			
6月22日	信陵	笹谷 大笹生	信陵支所	66	17	25.8%	2	54
								44
6月24日	吉井田		吉井田支所	28	7	25.0%	2	72
6月29日	土湯温泉町		湯愛舞台(ゆめぶたい)	29	11	37.9%	1	6
6月30日	吾妻		吾妻学習センター本館	55	15	27.3%	2	207
7月2日	西	荒井 佐倉	西学習センター	60	27	45.0%	2	35
								87
7月6日	清水		清水学習センター本館	105	21	20.0%	2	146
7月12日	飯坂 飯坂支部	飯坂 平野 中野 東湯野 茂庭	パルセいいざか	67	17	25.4%	1	26
								56
								15
								67
								14
17								
8月3日	渡利		渡利支所	50	15	30.0%	2	100
8月5日	杉妻		杉妻支所	25	3	12.0%	2	78
8月6日	立子山		立子山中学校	32	10	31.3%	1	20
8月17日	松川		松川学習センター	101	29	28.7%	3	209
8月19日	東部	東大波 鎌田	もちずり学習センター	45	20	44.4%	3	53
								27
8月20日	北信	瀬上 余目	北信学習センター	85	22	25.9%	2	49
								22
8月21日	信夫		大森小学校	56	20	35.7%	1	197
8月23日	飯野		飯野学習センター	35	7	20.0%	1	79
8月24日	李中央東		アオウゼ	59	23	39.0%	1	27
8月27日	蓬萊		蓬萊学習センター本館	41	15	36.6%	2	42
8月30日	李中央西		コラッセふくしま	43	14	32.6%	1	12
合計				982	293	29.8%	31	1829

# 令和3年度 自治振興協議会 開催状況

令和3年度の自治振興協議会は6月22日の笹谷・大笹生地区から、8月30日の中央西地区まで、一部合同開催を含め28地区18会場で開催されました。

コロナ禍での開催となり、通常より広い会場で、換気を行いつつ、参加者同士の距離も広めにとり、感染対策を行い開催いたしました。

また、自由闊達な意見交換の場となるよう、新たな取り組みとして、開会前にアイス

ブレイクを取り入れました。さらに、参加者中の女性比率も目標20%に対し目標を上回る約30%と積極的な参加をいただきました。

市からは市長をはじめ協議テーマに関連する各部長などが出席して、それぞれの地区の課題解決に向けた活発な意見交換を行いました。杉妻地区・立子山地区では、初のオンラインによる意見交換を実施しました。

開会前のアイスブレイク



参加者間の距離をとって開催



オンラインによる意見交換



女性参加者の拡充

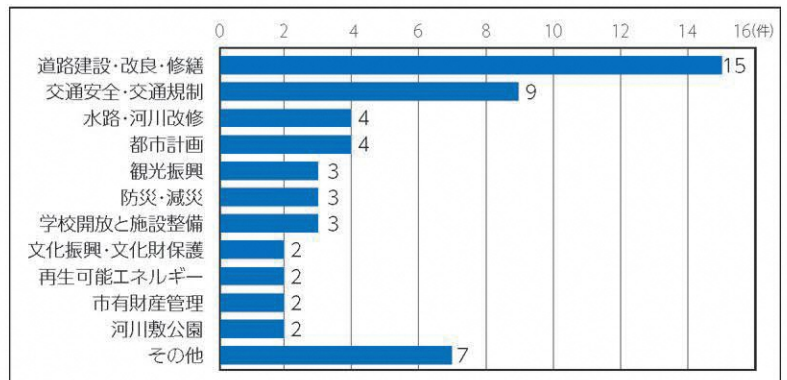


# 自治振興協議会 各事業の 実施等状況

## 協議テーマ

自治振興協議会の協議テーマは、各地区の重要な課題や提言について、地区より現状と課題の説明を行い、市はどのような解決方法があるのかを示し、より良い解決策について話し合いを行っています。本年度は31件の提出があり、56項目の課題・提言を受けました。

内容別回答件数は下記に示すように、道路に関するものが15件(26・8%)、次に交通に関するものが9件(16・1%)となっており、全体の4割超となっており、悲慘な事故が、昨年全国で相次いだことにより、各地区内で道路・交通安全に関する意識の高まりがみられるのが今年度の特徴となっています。



◆令和3年度 協議テーマ 市からの回答内訳

## 市の対応

協議テーマは、各地区自治振興協議会で十分に検討し、市に対して提案された、地区全体あるいは市全体に関わる重要な内容であります。

市では、重要性、緊急性を十分考慮し、課題解決に努めていくため、総合計画や各種まちづくり計画などと調整し、実現を図っていきます。



## 通学児童の 安全確保について (令和元年度)

笹谷地区内の通学路の一部(市道南田・片目清水線)では、道路の幅や道路上の電柱により、車がすれ違うことも困難な状況にありました。

児童・生徒が常に車の動きを注視しながら登校をしていたため、当該通学路の時間帯交通規制、カラー舗装化を要望しました。

要望を受けて、市では歩道のカラー舗装化の延長施工、施工に併



電柱の移設、カラー舗装化

せて電柱の移設を行いました。歩道の明確化や交通支障物の移設により、通学時の安全確保が図られました。

提案事項

令和3年度は、総数で1,829件の提案事項が市に対して提出されました。

内容別には、水路・河川修繕が395件(21.6%)、次いで道路側溝修繕が307件(16.8%)、交通安全施設が237件(13%)、道路修繕が154件(8.4%)、道路拡幅改良が150件(8.2%)、街路灯設置が148件(8.1%)、道路側溝新設が107件(5.9%)となっています。

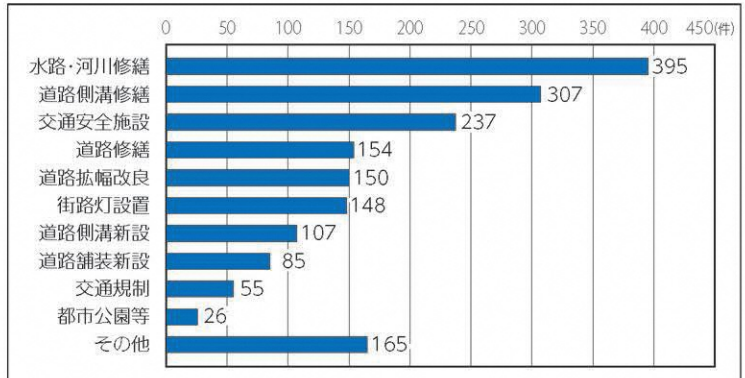
昨年同様に道路や水路、河川に関係する提案が多く全体の約65%を占めています。より良いまちづくりを進めるために、地区の皆さんが身近な課題について協議・提案をすることによって、地区住民の意見が直接行政に反映されています。



市の対応

地域生活に密着した多くの提案事項が提出されていますが、市全体での実施率は約33.4%(令和2年度)と実施できる件数には限りがあります。

市では、事業の緊急性と地域のバランスなど、総合的に勘案して事業を実施してまいります。提案内容の実現に向けて、最善の努力をしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



◆令和3年度 提案事項内訳

地域生活基盤整備事業

地域生活基盤整備事業は、地域生活における身近な生活基盤の整備を行うことにより、住みよい地域づくりの推進を図ることを目的とした事業です。地域全体の視点に立ち緊急性・利便性などを考慮し事業が進められ、令和3年度は、約1億5千万円の事業費で、道路街路灯や道路反射鏡設置、道路側溝新設・修繕など各地区で計306件の事業が実施されました。

これにより、身近な地域課題の解決につながり、地域住民の不安解消など、安全で快適な住みよい地域づくりの推進が図られています。

令和3年度地域生活基盤整備事業実施状況

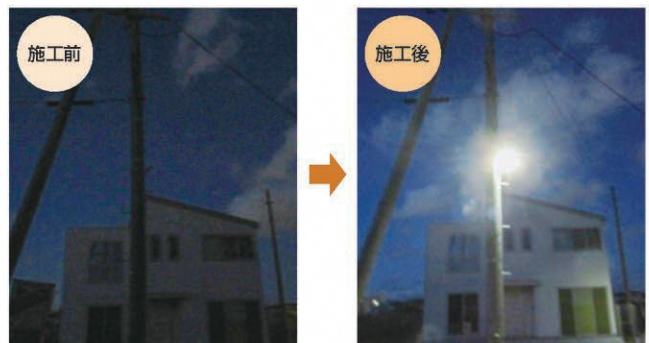
事業内容	件数
1 街路灯設置	92
2 反射鏡設置	52
3 道路側溝修繕	45
4 道路除草	59
5 道路側溝新設	15
6 道路防護柵設置	12
7 道路舗装修繕	2
8 その他	29
計	306

(令和4年2月28日現在)

道路側溝修繕工事(吾妻地区)



街路灯設置工事(吉井田地区)



### 連合会活動報告

本連合会は、市民と行政が一体となり市政の発展と地域の振興、毎年開催される各地区自治振興協議会の連絡調整を図ることを目的として、昭和61年に設立されました。現在、市内28地区の地区自治振興協議会により構成されています。

#### 総会

令和3年度 福島市自治振興協議会連合会総会は、5月12日に開催し、令和2年度の事業報告、収支決算報告、令和3年度の地区自治振興協議会の開催要項や事業計画案、収支予算案について審議しました。

#### 会長会議

11月24日には、各地区自治振興協議会会長による意見交換会を開催し、令和3年度の地区自治振興協議会の報告などを行い、各地区における課題等について意見交換を行いました。

#### 住民自治組織 会長表彰

5月12日の連合会総会、11月



5月12日に表彰を受けた  
菅野幸居様(中央)清水徹様(右)



連合会総会(5月12日)

24日の会長会議に先立ち、令和3年度に各地区の自治振興協議会会長職を退任されました方々に対し、永年にわたる功績をたたえるために、住民自治組織会長表彰式が開催され、福島市長より住民自治市組織会長表彰の贈呈がありました。



11月24日に表彰を受けた  
菅野廣男様(中央)岸儀勇様(右)



会長会議(11月24日)

受賞された皆さま	
地区名	氏名
中央西地区	清水 徹 様
渡利地区	菅野 廣男 様
蓬萊地区	岸 儀勇 様
中野地区	佐藤 仁一 様
飯野地区	菅野 幸居 様

#### 研修会

優良都市視察研修・市政研修については、新型コロナウイルス感染症防止の観点より、今年度は中止といたしました。

#### 福島市唯一 女性会長誕生



福島市を南北に走るJR東北新幹線・東北

本線を挟み、中心市街地の西側に位置し、県都福島市の玄関口となる福島駅西口を中心にまちづくりがすすめられている、中央西地区。

高層住宅の建設が進み、人口密度も高く、市街化が進むと期待される中央西地区の自治振興協議会会長に江川純子様が就任しました。

女性の会長は、市内28地区の自治振興協議会連合会では、中央西地区が唯一となります。

「女性ならではの視点で地区の振興に努めてまいります」と意気込みを語っていただきました。

国・県等要望活動

1月28日に福島県東北建設事務所に対し、県が所管する河川の改修及び道路整備など5件、要望しました。

福島県東北建設事務所からは、鳥谷野堰の改修計画策定と堰橋の拡幅要望について、改修計画案がまとまりつつあり、今後早期に地元説明を行う予定であり、拡幅についても地元の皆様、関係者の方々と協議を進めていくとの話がありました。

要望案件については、いずれも、子どもからお年寄りまで安全安心で快適な生活を送るために、大変重要な問題でありますので、引き続き国や県に対して地域の生の声を伝えてまいります。



■要望書を手渡す吾妻連合会長(左)

地区名	要望件名
杉妻地区	濁川における鳥谷野堰の改修計画の早期策定と堰橋の拡幅について
渡利地区	都市計画道路矢刺町渡利線ほかの整備促進について
大波地区	国道115号の整備改善について
飯坂方部	国道399号(仮称)飯坂東バイパスの整備促進について
信夫地区	永井川地区の濁川・平田川の水害対策について

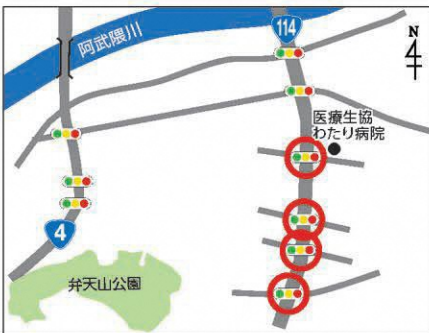
令和元年度要望  
国道114号安全確保(渡利)

国道114号の整備により、国道4号渡利弁天山交差点における福島市街地へ流入する車両の渋滞緩和が図られ、円滑な交通が確保されています。

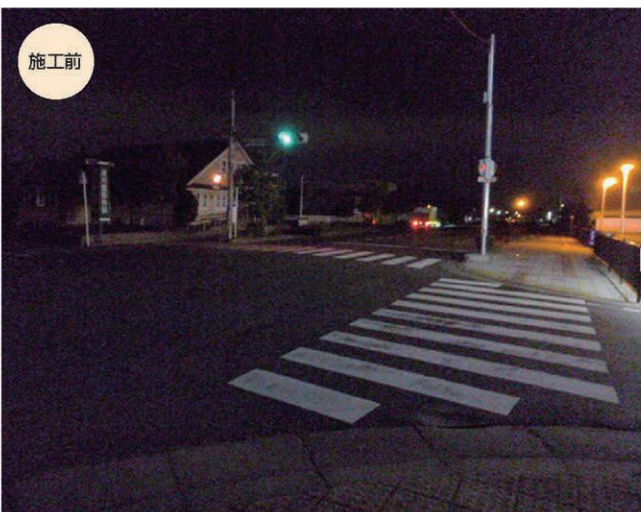
しかし、国道114号の豊田町から渡利鳥谷下町までの4車線区域は、住宅地が隣接し交通量が多く、歩行者・自転車等の通行の安全確保、交通事故防止が大きな課題でした。

特に市道との交差点には、道路照明灯の設置もなく、歩行者・自転車の車両からの視認性が低くなる夜間帯は、安全対策を講じる必要がありました。

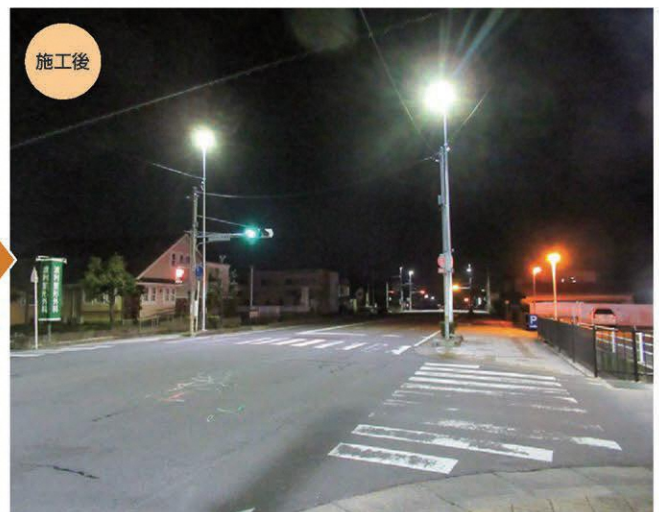
連合会では、安全対策として、歩行者等の早期発見のために、道路照明灯設置を道路管理者である福島県東北建設事務所に対し設置の要望を行い、渡利地区の国道114号と市道との交差点4カ所に照明灯を設置されました。



市道との交差点4カ所に照明灯を設置



施工前



施工後

照明灯



国の重要文化財「しゃがむ土偶」の出土地 上岡遺跡

地区じちしん紹介②②

東湯野地区



東湯野地区自治振興協議会

会長 橋内 豊明

東湯野地区は福島市の北東部に位置し、伊達市・桑折町と接したほぼ平坦な地域です。旧米沢藩上杉家時代に開削された「西根下堰・上堰」二つの用水路（現西根堰土地改良区）が田畑を潤し続け、豊かな恵みをもたらしています。果樹栽培が盛んで「おいしい果物の産地」として、多くの皆様に喜んで頂いております。また、中核的農業者増や新規農業者の定住化もみられるなど、大きな期待を寄せている状況です。

東湯野小学校は、少子化に伴い年々児童数も下降線を辿り、令和四年三月で百四十七年の歴史に幕を降し、湯野小学校と統合することになりました。新しい学びの場で、子供達が輝いて成長してほしいと願っております。地域の新たな課題として、閉校後の跡地利用があります。市当局並びに地元協議を十分に行い、特性を最大限活かせる施設に生まれ変われるよう、知恵を絞っていく所存です。

国の重要文化財「しゃがむ土偶」の出土地、上岡遺跡の縄文文化に想いを馳せながら、自然災害の少ない安全安心の地区として、協調と融和で「東湯野新時代」に取り組んで行きたいと思っております。

